

論說

題字・紫田彩音
(君狹東向)

域の浄水所での高濃度検出に注目が集まるが、福井県でも過去に複数の河川で高濃度に検出されている。県外で顕在化した環境汚染問題と看過せず、県内の状況に注意を向け続けたい。

なじ生活に密着した商品に長く使われてきた。

環境、健康の両面で関心を

など生活に密着した商品に長く使われてきた。

境水の水質管理の暫定目標値をPFOA、PFOS合計で1-2ppb未満かつ50ナダ（ナノ）は10倍分の1）と決めた。

に異常がない」とから眞田
「健康に影響が生じる事態
にはな」としてござる。

る。ただ、数々のSPEAKの由にせ、影響につづける十分な知見がない物質もある。製造禁止によつて改善された物質の安全性も注視する必要があつた。盛はの由、環境省など関連情報のところ先をホームページに掲載した。将来にわたつ具足の健康と生活の環境を守つてこゝための基本情報をつくり確認しておいた。

発がん性などが指摘される有機フッ素化合物 (PFAS) の健康への影響に問題心が高まっている。環境省は有機性の調査研究に乗り

とPEFOAの2種類は、溶
消火剤のほか、焦げ付かな
いフライパンのコーティン
グや布製品、撥水スプレー

制対象に追加され、日本でも製造や輸入が原則禁止だ。厚生労働省と環境省は20年、水道水と河川など環

く検出はないが、
超臨市
の井戸 1カ所から目標値を
超える濃度で検出された。
飲料用でなく、園内の井戸

水道水も河川も暫定値を超えるような状況にならぬ安全」との認識だ。環境省も健康被害の事例は国内で確認されていないとす

化学物質で、水や油をはじき
きに強くといつて特性がある。
金体で1万種類以上ある
といふ。中でも Al_2FeO_5

「威脅性有機化合物」
関するパトリック・ホルム
約100000がNOFOA
年少、NOFOAが19年に規

の共通点として「工場排水の流入」が記されている。
19年以降の県の調査では、これら河川から目標値を超えて

代價を払う状況に私たちは何度も直面してきた。PFAも同様のケースだ。